

日本文化演習(日本語学)Ⅳ

科目ナンバリング JLN-402
選択必修 2単位

中沢 紀子

1. 授業の概要(ねらい)

授業では、各自が興味を持った言語事例(過去の日本語・現代日本語)について発表してもらう。

2. 授業の到達目標

・テキストを言語資料として読むことによって、過去の日本語の姿および現代日本語に至るまでの歴史的变化を説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

演習発表内容(60%)と課題(10%)、質疑など授業への参加状況(30%)で成績評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業ではプリントを配布する。

5. 準備学修の内容

演習は、自分でテーマを考え、調査・分析する授業である。演習発表では、十分な準備が求められる。

6. その他履修上の注意事項

電子辞書を持ってくることが望ましい。古典文法に関する基本的知識は特に要求しないが、積極的な授業参加を求める。

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 言語資料についての概説を行う。 |
| 【第3回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第4回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第5回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第6回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第7回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第8回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第9回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第10回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第11回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第12回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第13回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第14回】 | 発表と討論を行う。 |
| 【第15回】 | まとめ(到達目標の確認を行う。) |